



図案の全体を誇り高い鷲にまとめた、胴体は「上田」の文字で骨組み、中央のどがった三角形は、無限の可能性と発展を表す。大空に羽ばたく上田小学校のシンボルである。

うえたっ子 5月



梅雨入りはしましたが...

沖縄地方は、5月5日の梅雨入り後、数日は雨の日もありましたが、最近では晴れや蒸し暑い日が続いています。そのせいか、マスクを手に持ったり、あごにずらしている子や忘れる子も目立つようになりました。これからは、熱中症対策とコロナ対策の両方に配慮しながら指導して参ります。あわせて、雨天時の過ごし方やエネルギー発散の方法などについても話し合い、安全に過ごさせていきたいと思っております。

ところで最近の新型コロナウイルス感染状況を考慮して、授業参観や学級保護者会も延期しました。しかし学校では、学級保護者会を学級経営方針の説明や家庭との連携、教育活動の展開において大変重要な会と捉え、資料も準備しております。今回は、直接ご説明することができませんでしたが、保護者会の資料をお届けしますので、是非ご一読いただき、子ども達の様子や学級経営、学習指導等について疑問点などがありましたら担任までご一報下さい。今後とも教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

暑い日も帽子を被っていない子が目立ちます。直射日光によるダメージを軽減し、安全や健康のために帽子のご準備をお願いします。



水泳学習が始まります!

5月28日より6年生を皮切りに、スポーツ庁のガイドラインに則って水泳学習を行います。既に校舎屋上のプールは、6年生と職員できれいに清掃され、元気な上田っ子達を待っています。

水泳学習(低学年は水遊び)が他の授業と比べて特に違うのは、「命の危険を伴うこともある」、ということです。それで学校では、水泳学習の際に、お子さんの健康状態や学習内容等にもいつも以上に細心の注意を払って実施しています。これまで保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症対策として朝の検温や健康シートの記入等お願いして参りましたが、水泳学習期間中は、これまで以上にお子さんの健康状態の把握と担任への連絡をお願いします。

今後は、より安全に学習を進めるため、可能な範囲でけっこうですので「見守りボランティア」にもご協力いただくと幸いです。

学習の時期は学年によって違います。お子さんの成長に合わせて、水着など早めのご準備をお願いします。



引き続き コロナ対策を!

沖縄県の新型コロナウイルス感染者が増加し続け、県立学校における感染レベルも「レベル3-2」の状態が継続されています。

学校においては、熱中症のリスクを考慮したマスク着用の指導や、授業の際の感染防止対策、3密の解消など、今後も注意しながら教育活動を進めて参ります。

ご家庭におきましては、これまで以上に「毎日の登校前の健康観察の徹底」、「同居家族に発熱等の風邪症状がある場合は登校を控える」、「濃厚接触者となった、PCR検査を受けた等の連絡」をお願いします。



避難訓練(不審者対応)

5/21

校舎内に不審者が侵入してきたことを想定した避難訓練を行いました。本校は、こども園と施設を共用していることもあり、火災や地震の避難訓練は合同で行っています。

不審者や火災、災害等は、いつ起こるかわからないので、抜き打ちで行う学校もありますが、中には、訓練と現実が混然としてパニックになる子もいることから、本校では時間は伏せて期日だけを伝えていました。

避難訓練では、「正しい情報を得、正しく避難する」を心掛け、緊急放送が流れたら、静かに聴いて正しく行動することを確認しました。



1年生を迎える会

5/7

新1年生166名の上田小学校への仲間入りを全校児童で祝う「1年生を迎える会」をオンラインで行いました。

2年生と6年生からは、手作りのプレゼントがありました。2年生のメダルには、これからの楽しい学校生活について紹介されていました。3年生から5年生までは、ダンスやクイズなどを動画で紹介していました。

最後は、1年生の各学級代表6名がお礼の言葉を発表し、1年生166名がカメラの前でポーズを決めた動画をお礼を述べる1年生で締めくくられました。



お礼を述べる1年生

毎月第1木曜日は人権の日

本校では、人権教育についても様々な取組を行っています。毎月第1木曜日を「人権の日」と設定し、朝の校内放送で担当職員より年間計画に沿った講話を行うのもその一つです。学級担任は、学校教育全体を通じて道徳の授業を行っていますが、その中から特に「人権」に関するお話をみんなで考えます。5月は「いじめ」について考えました。



今日は人権の日です。「いじめって何だろう」ということを考えながら聞いて下さいね。今月のテーマは「友情」です。新しい友達が増えて、新しいクラスにも慣れてきたところだと思います。皆さんは、友達がいじめたり、友達からいじめられたりしたことはありませんか? また、友達がいじめをしたたり、いじめられたりしているのを見たことはありませんか? いじめは、やった人も、やられた人も、まわりの人たちも、みんなが傷ついてしまうことです。時には、命さえもうばってしまうこともあります。いじめは、絶対、許されるものではありません。では、みんなが安心して、いじめのない学校生活を送るには、どうすればよいのでしょうか? 自分には何ができるのか、クラスの一員として何ができるのかを考えてみましょう。

校内放送の後には、各学級で話し合ったりワークシートに記入したりして、いじめについて自分の考えをまとめました。ちなみに4月は、「人権って何だろう」、6月は、「平和について」です。



GIGA研修会

5/7 5/11

昨年度末に導入された、児童一人一台のタブレット端末の使用法や授業での効果的な活用法などについての研修会を2日間、行いました。

同様の研修は、昨年度末にも行いましたが、新年度に20名の新しい職員を迎えたこともあり、確認する意味も含め、全職員参加のもとで行いました。

研修会のために、下校時刻が変更になり、保護者の皆さんにも負担をおかけしていると思っておりますが、せっかく整備された教育資源を活用するための研修会であることをご理解頂きたいと思っております。

今後は、それぞれの学級でタブレット端末が大いに活用していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



上段:活用コース(4-1教室) 下段:入門コース(図書室)



しまくとぅばで「耳グスイ」コーナー

カナ ナーカ ムチ ウ
愛 愛 中、鞭 打 打 打
【訳】愛しい中(ほど)、鞭を打て。

我が子を愛しいと思うのはどの親も同じであるが、猫かわいがりだけではフリムン(愚か者)が一匹できあがるだけである。人格が完成してからでは、なかなか変えるのは難しいものである。人として大事なことを身につけないまま、厳しい世の中を生きていくはめになる。真にその子の将来を考えるなら、親は心を鬼にし、鞭打つても悪い面は正してやらなければならない。その積み重ねが、善悪の判断のできる、人としての心が備わった人間をつくりあげる。子どもはかわいがるだけでなく厳しく育てよ、という教えである。と黄金言葉~ウチナンチュが伝えることわざ200編 幸地優子編~にあるが、校長としては、ここでいう「鞭打つ」とは、言葉通りの痛みを与えることだけではなく、「自分のことは自分でやらせる」、「始めたことは最後までさせる」、「自分の言葉に最後まで責任を持たせる」なども含まれると考えます。



「めるぼん(学校メール링サービスの登録をお願いします。

学校からのお知らせや不審者情報等を受信できるめるぼんへの登録をお願いします。

学校からのお知らせには、「学校全体に関わるもの」と「各学年に関わるもの」があります。そこで、伝達漏れを防ぐことや卒業すると自動的にリストから削除されることなどから、お子様ごとに登録していただくようご協力をお願いします。尚、うまく登録作業ができないという方は、PCメールがブロックされていて返信メールが届かない、というケースもあるようです。その際は、お手数ですが、各携帯電話会社へお問い合わせの上、ブロック解除設定をお願いしてください。

